

産業廃棄物の溶出試験に関する検定法が、 2013年6月1日より、改正されています！

産業廃棄物に含まれる金属等の検定方法（昭和48年環境庁告示第13号）の一部を改正する告示の公布について（平成25年2月21日付 環境省）

旧検定法

新検定法

産廃・汚泥・燃え殻

水に懸濁（500mL以上）

振盪

遠心分離
3000回転／分 20分間

遠心分離
3000重力加速度(Xg) 20分間

濾過・検定

改正に伴い、
500mL以上の産廃・汚泥・燃え殻懸濁液を、
3,000Xg(重力加速度)で遠心できる遠心機
が必要になります。

Thermo Scientific Sorvall 大容量遠心機 換気式(冷却装置不要) All in Oneパッケージ

パッケージ内容:

本体・TX-750スイングローター・ラウンドバケットTX-750用・750mLバイオボトル12本

- ・EUの規格に則った安全性
 - ・アダプター交換により、様々な用途にも対応
 - ・ローターは自動認識(回転数を自動制御)
- ※TX-750ローターの最大遠心力は4,816xg。
スイングローターを変えることにより、最大7,188xg
(6,300rpm) までご使用できます。



Legend XF
(換気式)



Legend XT
(換気式)



TX-750
ローター+ バケット

LC/MS/MSを用いたハロ酢酸類の分析が 公定法に採用されました!

ハロ酢酸類の検査方法として、現行のGC-MS法に加えて、LC-MS/MS法が採用されました。

本法ではGC-MSで必須になる、サンプルのジアゾメタン法での誘導体化が不要になる利点があります。

LC-MS/MSによる分離検出法はいくつか報告されていますが、サーモフィッシャーの一押しは、イオン交換モードと逆相モードの両方の特性を有するミックスモードと呼ばれる分離手法です。



水道水には塩化物・硫酸・硝酸といった、ハロ酢酸類のイオン化を阻害する陰イオン類が含まれています。一般的な逆相カラムでは、これらの成分は保持が不安定で、再現性に問題が生じる可能性があります。

逆相とイオン交換機能を有するミックスモードカラムでは、これらの陰イオン類を、除去カートリッジを使わずに、イオン性マトリクスとハロ酢酸の分離溶出が可能となり、再現性のある安定した分析ができます。

※サーモのSRMモードによる高感度検出では、基準値の10分の1の濃度で定量分析が行なえました!

詳しい資料をご希望の方は、各担当営業にお問い合わせ下さい。